

2022年度第3四半期 決算説明会資料

2023年2月14日

100年をつくる会社



1

決算のポイント 3

2

業績ハイライト 4

3

事業別の概況 7

4

株主還元・政策保有株式 12

1 決算のポイント

第3四半期決算

連結・単体ともに前年同期比増収増益

- 単体業績 : 施工中工事の着実な進捗により売上高が増加し、増収効果により、利益が前年同期を上回る
- 海外関係会社 : 米国開発事業の堅調な推移等により、増収増益

通期業績予想の上方修正

連結・単体ともに前年度比増収増益 連結当期純利益を1,050億円に上方修正

- 単体業績 : 大型工事等の順調な進捗、建設事業の売上総利益率改善の見通しにより
前回予想（2022年11月発表）からの売上高、利益の増加を予想
- 海外関係会社 : 外貨換算額の減少等により、前回予想からは売上高、利益の減少を予想

配当予想の修正（増配）

期末配当金を4円引き上げ、1株当たりの年間配当金を62円に修正

2 業績ハイライト | 第3四半期実績

連結・単体ともに前年同期比増収増益

- 単体土木事業及び建築事業の売上高増加、米国開発事業の着実な業績貢献が主因

(億円)	連結			単体		
	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年同期比	2021年度 第3四半期	2022年度 第3四半期	前年同期比
売上高	14,825	17,531	+2,705	8,791	10,179	+1,387
営業利益	886	932	+46	555	575	+19
経常利益	1,068	1,212	+144	666	773	+106
親会社株主に帰属する 四半期純利益	814	820	+6	529	564	+35
建設事業受注高	12,970	17,461	+4,491	8,048	11,336	+3,288
(換算レート) 単位:US\$	¥111.92	¥144.81				
	2021年度末		前年度末比	2021年度末		前年度末比
有利子負債残高	3,599	6,094	+2,494	1,993	3,243	+1,250

2 業績ハイライト | 通期予想

連結・単体ともに前年度比増収増益を予想

- 単体業績の向上が、外貨換算額の減少を上回る

(億円)	連結					単体				
	2021年度 実績	2022年度 前回予想 2022年11月10日公表	2022年度 最新予想 2023年2月14日公表	前年度比	前回予想比	2021年度 実績	2022年度 前回予想 2022年11月10日公表	2022年度 最新予想 2023年2月14日公表	前年度比	前回予想比
売上高	20,796	24,300	24,000	+3,203	△300	12,449	13,900	14,400	+1,950	+500
営業利益	1,233	1,130	1,210	△23	+80	810	720	820	+9	+100
経常利益	1,521	1,410	1,500	△21	+90	924	870	1,010	+85	+140
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,038	1,000	1,050	+11	+50	721	680	770	+48	+90
建設事業受注高	19,298	22,300	21,100	+1,801	△1,200	11,508	13,700	13,800	+2,291	+100
(換算レート) 単位:US\$ ¥115.02 ¥144.81 ¥132.70										
	2021年度末			前年度末比		2021年度末			前年度末比	
有利子負債残高	3,599	5,500	5,500	+1,900	+0	1,993	2,300	2,300	+306	+0

※ 海外関係会社業績における外貨換算減少額見込み（前回予想比）：

売上高▲490億円、営業利益▲20億円、経常利益▲40億円、当期純利益▲25億円、建設事業受注高▲415億円

第3四半期も継続して国内・海外において大型工事を複数受注

＜2022年度第3四半期(3か月間)における主要受注工事＞

種別	工事名称	発注者	工事場所
土木	長野自動車道（特定更新等） 岡谷高架橋改良工事（平成30年度）	中日本高速道路株式会社	長野県
土木	馬毛島基地建設 滑走路工事	国土交通省	鹿児島県
建築	サンクチュアリコート日光新築工事	リゾートトラスト株式会社	栃木県
建築	（仮称）杉乃井スタンダード新棟新築工事	オリックス不動産株式会社	大分県
建築	八重洲ダイビル建替計画	ダイビル株式会社	東京都
建築	セキュアデータセンター東京第4センター	セコム株式会社、 セコムトラストシステムズ株式会社	東京都
海外	台北國賓飯店建替工事※1	国賓大飯店股份有限公司	台湾
海外	ポーチェン中部ジャワ工場 新築工事※2	HARDASES ABADI INDONESIA	インドネシア

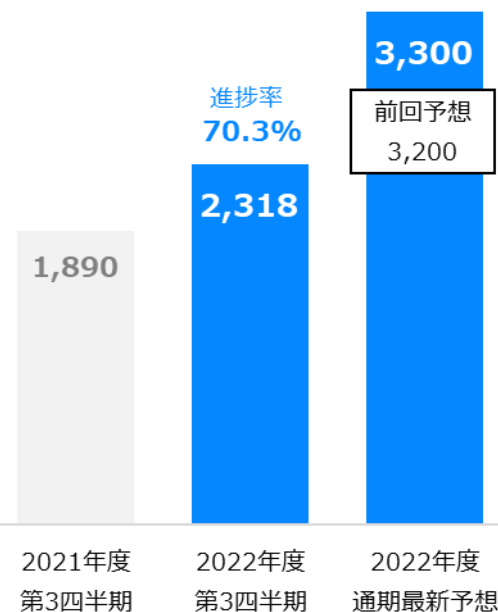
※1は中鹿宮造の受注工事

※2はKAPの受注工事

3 事業別の概況 | 土木事業(単体)

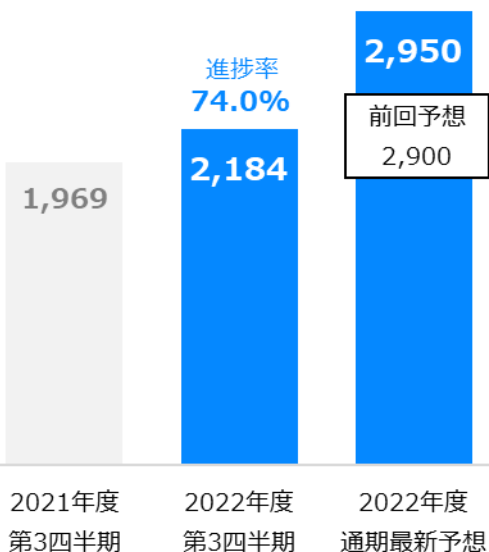
受注高

(億円)



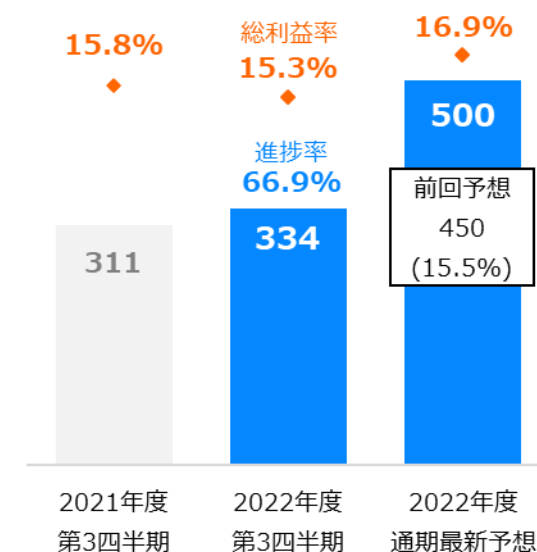
売上高

(億円)



売上総利益

(億円)



2022年度第3四半期

- 受注高は、大型工事の受注などにより、前年同期を上回った
- 売上高は、施工中工事の順調な進捗によって増収となった
- 売上総利益は、増収に伴い前年度比増益となった

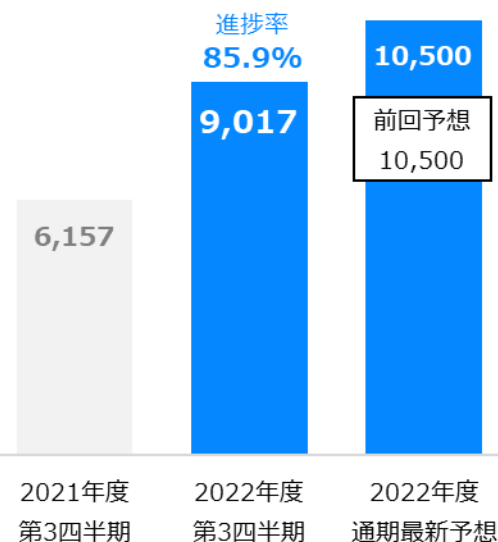
2022年度 通期予想

- 受注高は、大型工事などの受注状況を勘案し、前回予想から100億円の増加を見込む
- 売上高は、第3四半期までの進捗状況を踏まえ、前回予想から50億円の増加を見込む
- 売上総利益率は、期末竣工工事を中心とする損益改善により、16.9%への向上を見込む

3 事業別の概況 | 建築事業(単体)

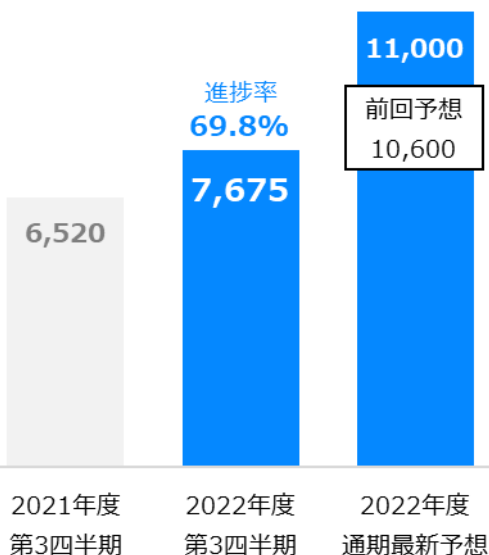
受注高

(億円)



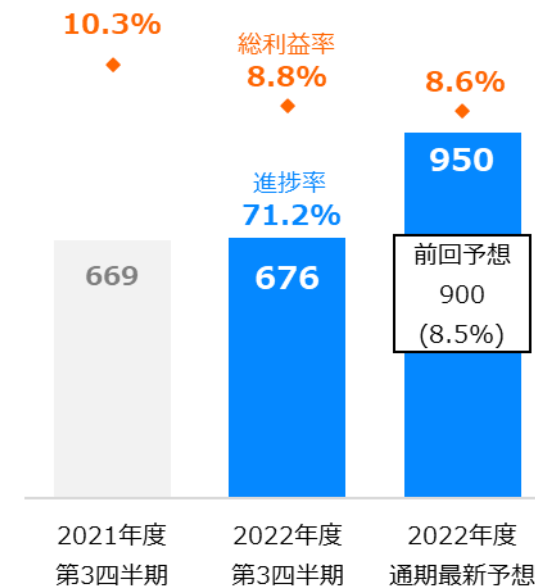
売上高

(億円)



売上総利益

(億円)



2022年度第3四半期

- 受注高は、大型工事を複数受注したことから、前年同期を大幅に上回った
- 売上高は、大型工事の施工本格化によって増収となった
- 売上総利益は、総利益率は前年度から低下したものの、増収に伴い増益となった

2022年度 通期予想

- 受注高は、前回予想から変更はない
- 売上高は、第3四半期までに受注した大型工事の施工状況なども踏まえ、前回予想から400億円の増加を見込む
- 売上総利益は、売上高の増加を主因に、前回予想から50億円の増加を見込む

3 事業別の概況 | 開発事業等(単体)

受注高

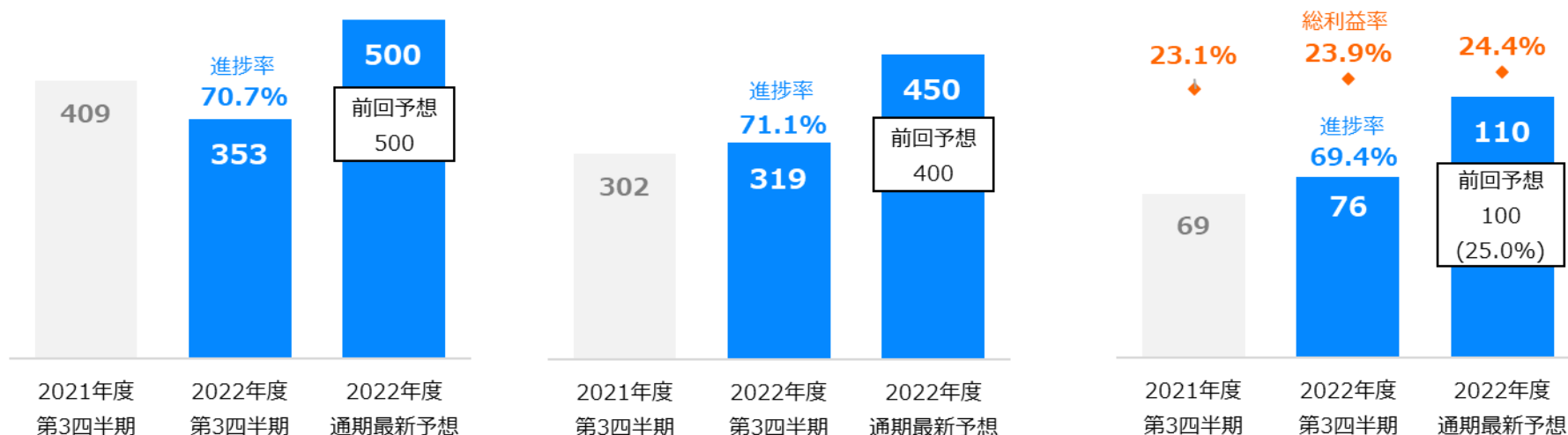
(億円)

売上高

(億円)

売上総利益

(億円)



2022年度第3四半期

- ・ 賃貸事業において安定した利益を確保したため、前年同期と同水準の業績となった

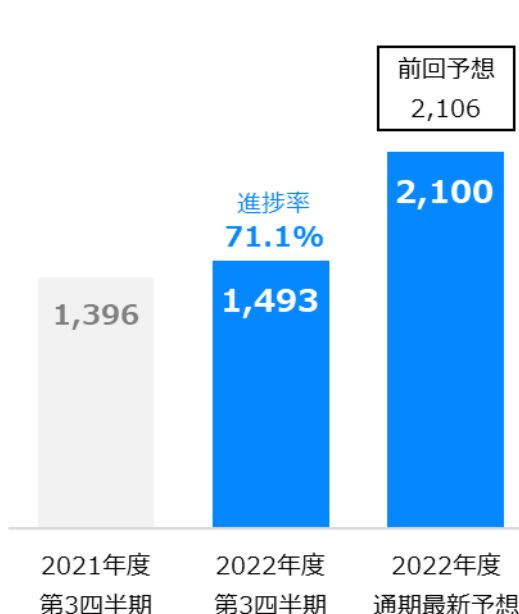
2022年度 通期予想

- ・ 賃貸事業に加え、設計・エンジニアリング事業などの堅調を見込み、売上高・売上総利益の増加を見込む
- ・ なお、第4四半期に固定資産（賃貸用不動産）売却により、特別利益（40億円程度）の計上を予定している

（参考）単体開発事業と開発系国内関係会社の当期純利益の合算値（国内開発事業の経営管理数値）の通期見込76億円に変更はない

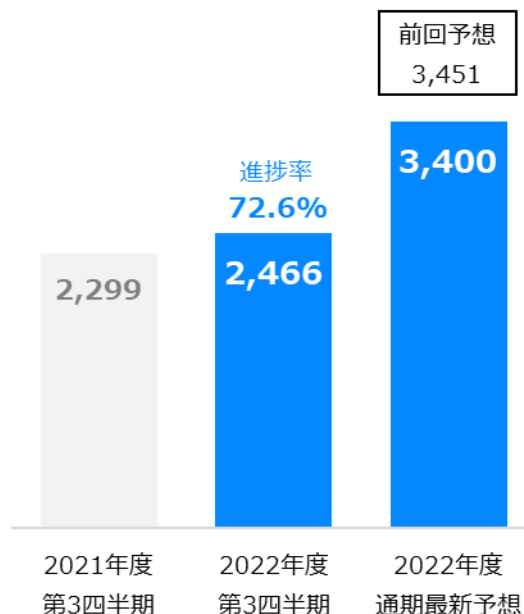
建設受注高

(億円)



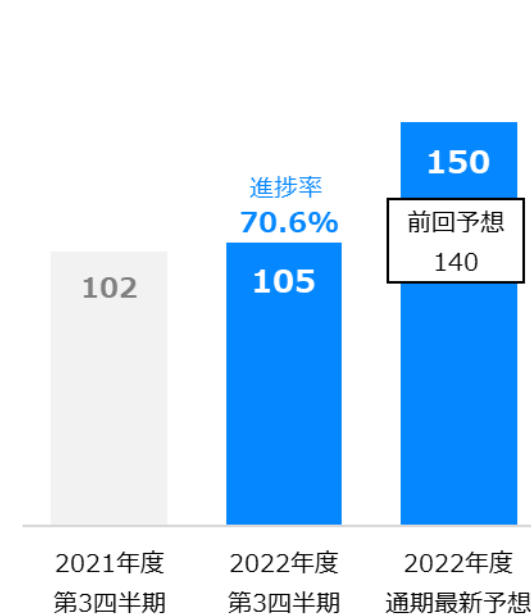
売上高

(億円)



四半期純利益

(億円)

**2022年度第3四半期**

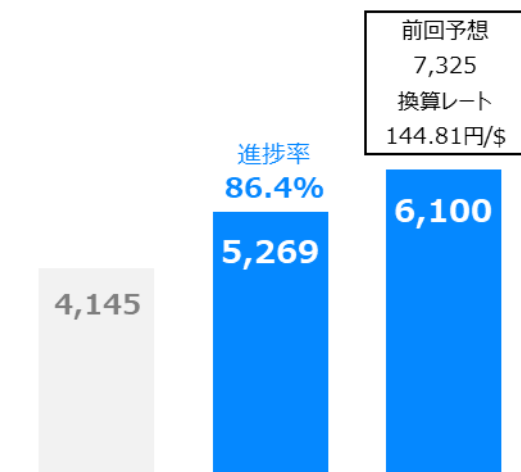
- ・ 建設受注高は、大型工事の受注などにより、前年同期を上回った
- ・ 売上高は、施工中工事の順調な進捗を主因に、増収となった
- ・ 四半期純利益は、大型工事の損益改善や建物リース物件の売却などを主因に、前年同期比増益となった

2022年度 通期予想

- ・ 第3四半期までの実績を踏まえ、売上高は前回予想から50億円の減少を見込む
- ・ 当期純利益は、持分法適用会社等の業績改善を見込み、前回予想から10億円の増加を予想

建設受注高

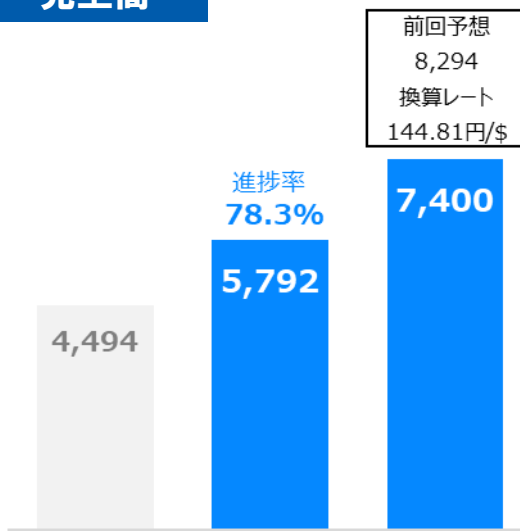
(億円)



前回予想
7,325
換算レート
144.81円/\$

売上高

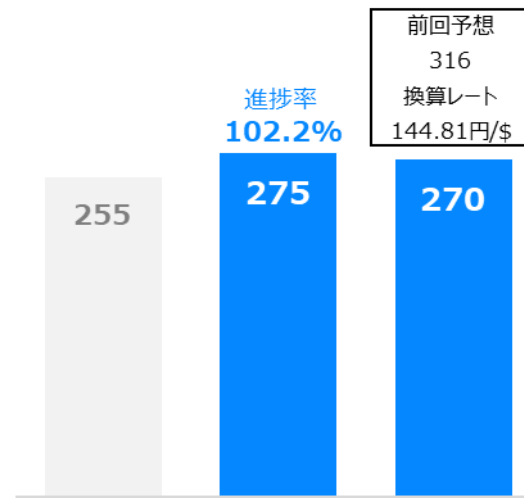
(億円)



前回予想
8,294
換算レート
144.81円/\$

四半期純利益

(億円)



前回予想
316
換算レート
144.81円/\$

換算レート
単位:US\$

2021年度
第3四半期

¥111.92

2022年度
第3四半期

¥144.81

2022年度
通期最新予想

¥132.70

2021年度
第3四半期

¥111.92

2022年度
第3四半期

¥144.81

2022年度
通期最新予想

¥132.70

2021年度
第3四半期

¥111.92

2022年度
第3四半期

¥144.81

2022年度
通期最新予想

¥132.70

2022年度第3四半期

- 米国開発事業の堅調な推移に加え、外貨換算額の増加により増収増益

2022年度 通期予想

- 前回予想からの円高方向への為替変動に加え、工事発注時期の遅れや景気動向を踏まえた開発物件売却の先送りなどにより、建設受注高・売上高・当期純利益ともに修正した
- 為替レートの変動（前回予想 144.81円/US\$ ➡ 最新予想 132.70円/US\$）による外貨換算減少額
建設受注高: ▲415億円 売上高: ▲490億円 当期純利益: ▲25億円

4 株主還元・政策保有株式

株主還元

- 株主還元方針に基づき、期末配当金を前回予想から4円増配の33円とし、1株当たりの年間配当金を62円に修正
- 連結配当性向は29.0%、既に実施済みの自己株式取得を含めた総還元性向は38.5%となる見通し

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度	
			前回予想 2022年11月10日公表	最新予想 2023年2月14日公表
1株当たり年間配当金	54円	58円	58円	62円 (中間配当金 29円) + (期末配当金 33円)
1株当たり当期純利益	193.13円	208.00円	203.02円	214.14円
配当性向	28.0%	27.9%	28.6%	29.0%
自己株式取得	100億円	200億円	100億円	100億円

株主還元方針

配当性向30%を目安とした配当に努めるとともに、業績、財務状況及び経営環境を勘案し、自己株式の取得など機動的な株主還元を行う

4 株主還元・政策保有株式

政策保有株式の縮減状況

- 2021年度からの累計売却額は239億円となった
- 中期経営計画に掲げた、「3か年で300億円以上」の売却目標に対して順調な進捗

縮減状況	2021年度 実績	2022年度 第3四半期累計	2023年度 目標
売却銘柄数 (一部売却を含む)	17銘柄	15銘柄	—
売却額	148億円	90億円	3年間累計 300億円以上

<参考>

保有状況	2020年度末	2021年度末
銘柄数 (うち上場株式)	320銘柄 (144銘柄)	316銘柄 (135銘柄)
貸借対照表 計上額	2,665億円	2,587億円

100年をつくる会社



お問合せ先

鹿島建設株式会社 経営企画部
コーポレート・コミュニケーショングループ
E-Mail : ir@ml.kajima.com

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。